

9月定例記者会見 市長原稿

それでは、9月の定例記者会見を始めます。

本日も情報提供の前に、いくつか本市の取り組みや、まちの話題をご紹介します。

まずはじめに、先日9月23日の「手話の日」に関連したお話です。

これは今年6月に施行された「手話に関する施策の推進に関する法律」に基づき制定されたもので、本市では同法の施行に先立ち、「龍ヶ崎市手話言語条例」を4月に施行しております。

本市では、手話が、聴覚障がい者・ろう者が自立し、豊かな生活を送るために欠かせない重要なコミュニケーション手段であることから、この記者会見の動画でも、ワイプ画面で手話通訳を公開しております。また、保健福祉棟3階 RINK を会場に龍ヶ崎市社会福祉協議会が手話講座を定期開催しているところです。

これからも、誰もがいきいきと安心して暮らせるよう、様々な取り組みを進めてまいります。

次に、流通経済大学の創立60周年についてです。

本市のまちづくりに欠かせないパートナーである同大学は、今年創立60周年を迎えました。これまでの本市との関わりに改めて感謝申し上げますとともに、記念の年を心からお祝い申し上げます。

これまで約5万人の卒業生を輩出された、流通経済大学の卒業生は様々なフィールドで活躍されています。

また、教員の皆さまによる市民大学講座も非常に好評で、先日行われた講座にも多くの市民が参加し、熱心に講義を受けていたと伺っております。今後も、本市に欠かせないパートナーとして、時代に合わせた取り組みを行っていきたいと考えております。

なお、広報龍ヶ崎『りゅうほー』10月号では、流通経済大学の特集を予定しておりますので、こちらも楽しみにしていただければと思います。

それでは、本日の情報提供に入ります。

最初に、「水循環型シャワー」と「トイレトラック」のお披露目式の情報です。

本市では、このたび災害時の避難所における衛生環境改善を目的に、「水循環型シャワー」8台と「トイレトラック」1台を導入します。そして、これらのお披露目式を 10 月 16 日、龍ヶ崎市役所で開催いたします。また、当日は「災害派遣トイレネットワークプロジェクト」協定締結式もあわせて行います。

今回導入した「水循環型シャワー」は一度使用した水をろ過・浄化し、再利用ができるもので、通常2人分の使用水量で、100 人が利用可能です。「トイレトラック」は洗浄・温便座付きの水洗洋式トイレ5室を備え、うち1室は車いすりフターやオストメイト設備、おむつ交換台、ベビーキープを備えた多機能トイレです。

市区町村単位での「水循環型シャワー」の導入台数は、製造元調査によれば全国で最多であり、「トイレトラック」の導入は市の調査によると県内で2番目の早さとなります。

本市では令和6年の能登半島地震をはじめ、各被災地に職員を派遣し、現地での生活用水不足の深刻さを体験しました。こうしたことから、本市における災害発生時の長期的断水を想定し、災害関連死から一人でも多くの命を守るため、今回の「水循環型シャワー」と「トイレトラック」を導入を決定しました。

また、今回の「トイレトラック」導入を機に全国 38 自治体が参加する「災害派遣トイレネットワークプロジェクト」に加入し、相互支援により被災地のトイレ問題を解消する体制の構築を図ります。

当日は、お披露目式の前に、このプロジェクト加入のための協定締結式を行います。また、お披露目式では設備の概要説明のほか、報道関係者の皆様や参加者による体験会を実施します。ぜひ取材いただき、市の新たな防災対策の取り組みを広くお伝えいただきますようお願いいたします。

続きまして、歯の健康まつり「かむかむフェスタin龍ヶ崎」の情報です。

本市では、来る 11 月 2 日、初めてとなる「歯の健康まつり」を開催いたします。

これは、本年 4 月 18 日に、本市及び龍ヶ崎市歯科医師会、株式会社ロッテの三者で締結した「歯科口腔保健の推進に関する連携協定」に基づき、市民の健康づくりに向けて行う取り組みのひとつです。

この事業は 3 カ年計画で実施を予定しており、初年度となる今年は、お子さんと保護者の方を主な対象に、楽しみながら歯とお口の健康について学んでいただける内容を準備しております。

当日は、龍ヶ崎市歯科医師会、株式会社ロッテ、明治安田生命保険相互会社のご協力をいただき、歯科講演会、歯の治療の疑似体験、歯科相談やブラッシング指導などを行います。また、血管年齢や骨密度の測定、さらに記念品づくりや絵本の読み聞かせ、管理栄養士が考えた「かみかみレシピ」の試食なども予定しており、幅広い世代の皆さんに楽しんでいただける内容となっています。

本市の最上位計画である「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」では、健康長寿社会の実現や子育て支援の充実を掲げており、今回の取り組みも、その実現に向けた重要な一歩であると考えております。今後も、市民一人ひとりの健康意識を高めるとともに、医療機関や教育機関、地域の皆さん、そしてボランティアの方々と連携しながら、健康づくりを進めてまいります。

なお、この「歯の健康まつり」は、来年度は高齢者の皆さんを対象に、再来年度には全市民を対象とした事業へと広げたいと考えているとことです。

ぜひ、多くの市民の皆さまにご参加いただき、楽しみながら歯とお口の健康について学んでいただければと思います。